

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター神埼



○事業所名	COMPASS発達支援センター神埼			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通える事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所であることを常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	小集団活動を実施しており、運動面や巧緻性、ソーシャルスキルトレーニングなど幅広い目的を持った活動をおこなっております。	アセスメントをおこなったうえで、実際に児童と関わりながら一人ひとりのレベルの把握や観察をおこない、児童に応じた支援を心掛けております。 また、小集団でしか学べない他者との関わり等を支援しております。	園と連携をおこないながら、実生活の中で生かしていけるような支援を検討してまいります。
3	就学や通園等につながる学習習慣が身につくよう、学習に取り組む時間を確保しております。	着座することや集中力を身につけること等、児童が興味を持てるよう学習課題を工夫しております。	より個性の高い療育の質の向上に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	機能訓練室が1ホールとなっているため、完全個室化での療育が実施できないと感じております。	大きな音や他児の声などに敏感な児童もいるため、周囲の音が気になり療育に集中できない場面があると考えております。	パーティションで視覚的な情報を遮断することで、気持ちの安定を図ったり、事務所等で環境を変えて過ごすなどの配慮をおこなってまいります。 周囲からの刺激を受けないよう、パーティションで区切り、療育を実施してまいります。
2			
3			



公表日：令和8年3月27日